

社員の個人情報漏洩！

**会社は労組に事実関係説明するも、
見解示さず謝罪無し！**

時事通信HPより

顧客情報入りメモリー紛失＝新大阪駅助役、
560人分－泥酔、カバン盗まれる

JR東海は3日、新大阪駅の助役（58）が約560人分の顧客の個人情報が入ったUSBメモリーなどが入ったかばんを盗まれたと発表した。見つかっていないが、これまでに不正利用の情報はないという。

同社によると、助役は8月29日未明、大阪北区の路上で泥酔して眠りこんだ間にカバンを盗まれた。メモリーにはクレジットカード番号や顧客の署名などの売上票データ405人分と、利用客159人分の名前や電話番号が載った意見書、新大阪駅員の住所録などが入っていた。

会社は「個人情報漏洩」という事態を、さすがに一大事と思ったのか、本日の団体交渉終了後、事実関係について説明しました。

しかし、あくまで事実関係のみであり、この事態に対する会社としての見解、社員の個人情報が流出した事態への謝罪は一切ありませんでした。

会社のホームページ上で「謝意」を表明するだけではまったく誠意が感じられません。被害の有無が問題ではなく、管理者が社員の個人情報を持ち歩いていることが問題なのです。